なっとくんの

２０１４年　１月１５日　　No.６９

なるほどなっとくニュース

県立山口博物館
学校地域連携担当

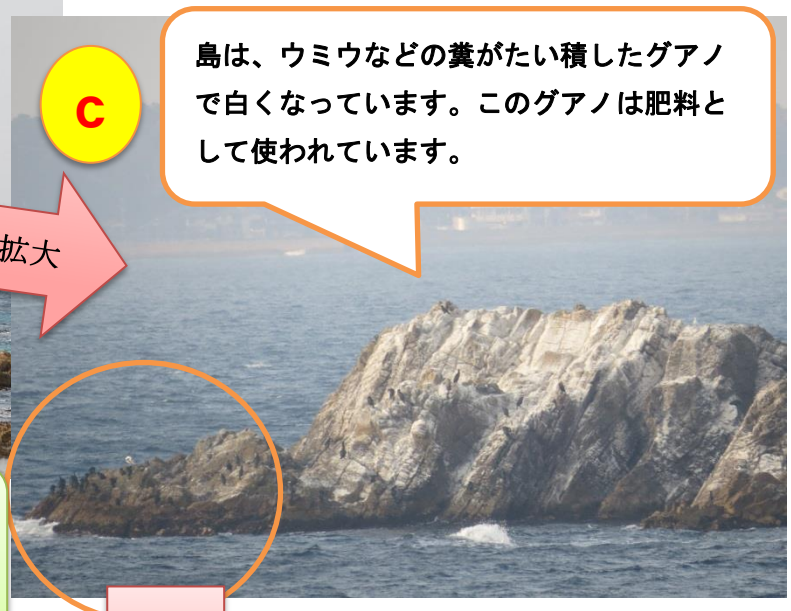
なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館のホームページでダウンロードすることができます。

風（かぜ）にも、波（なみ）にも、雪（ゆき）にも負（ま）けず！・・・たくましい「ウミウ」

下関市豊北町和久（しものせきしほうほくちょうわく）の沖合（おきあい）約700mにある「壁島（かべしま）」。この壁島（かべしま）には11月下旬（がつげじゅん）から3月下旬（がつげじゅん）にかけて、数千羽（すうせんば）の「ウミウ」という水鳥（みずとり）が渡来（とらい）します。島（しま）には、この「ウ」の糞（ふん）がたい積（せき）していて、遠（とお）くから見（み）るとまるで白壁（しらかべ）のよう。「壁島」は、ウミウの渡来地として国指定天然記念物となっています。

「壁島」は、一見するとただの白っぽい岩に見えますが・・冬の時期は、よく見るとすごいことに！

壁島は、いくつかの岩礁でできています。他の岩礁に比べてここだけ白いのですぐにわかります。



すべて 1 月 12 日撮影で、A～E は、15:30 ごろ 191 号線沿いの海岸から撮影

「ウミウ」は、日中はエサをとりにかなり広範囲に出かけるので、あまりいませんでした。夕方になると帰ってきてもっとたくさんいるようです。ちょっと残念！　ちなみに、ウミウは鵜飼（うかい）で使われる鵜（う）です。

右の 2 枚は、道の駅「北浦街道　豊北」のテラスから 12 時 30 分ごろ撮影した「壁島」。ウミウは、この角度からは確認できませんでした。